

(仮称)プール絵本館複合拠点施設

施設概要資料

倶知安町 / 倶知安町教育委員会

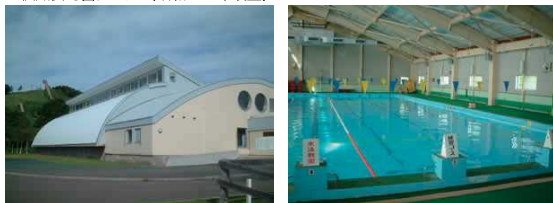
2026年4月

■ 計画の背景

・ 倶知安町営プールは、竣工から約 40 年が経過し、天井鉄骨の一部が落下するなど危険な状態にあり、また、建物診断調査により施設全体の耐震性不足も明らかになり、令和 2 年度より利用を休止しています。町内 2 箇所の学校プールについても老朽化に伴い利用を休止しており、学校授業での活用も想定した新プールの整備が求められています。加えて、旧体育館を活用していた青少年センター（絵本館）及び世代交流センターについても老朽化が進んでいたことから、これらを含めた複合的な拠点施設の整備を進めることになりました。

・ 当該施設整備にあたり、令和 5 年 9 月に「倶知安町営プール絵本館複合拠点施設整備基本計画」として、機能や規模、敷地配置、事業手法やスケジュール等の基礎的な検討がされ、令和 6 年度に基本設計、実施設計を行いました。令和 7 年 8 月から工事着手し、令和 9 年 5 月竣工予定です。

■ 倶知安町営プール（昭和 56 年竣工）



■ 倶知安町青少年センター（昭和 42 年竣工：令和 6 年解体）



■ 倶知安町世代交流センター（昭和 44 年竣工：令和 6 年解体）



■ 基本の方針

- ・ 令和 5 年 9 月「倶知安町営プール絵本館複合拠点施設整備基本計画」にて設定された施設整備にあたっての基本の方針を以下に示します。
- ・ 基本の方針については、柱となる「基本の方針」を据え、「4 つの個別方針」、「基本性能」を設定しています。

■ 基本の方針

誰もがいつでも安心して利用でき、多様な活用によって、世代を超えた交流が生まれる拠点づくり

- ①バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮し、快適にスポーツや健康増進活動ができる場所の提供
- ②誰でも自由に居心地の良い空間形成により、コミュニティが生まれ、子ども大人も成長できる。
- ③施設のメンテナンスや環境への負荷が少ない施設の整備
- ④周辺施設の機能強化に繋がり、倶知安町の魅力を向上できる建設敷地の選定

■ 基本の方針に基づく基本機能

◆ プール機能

- ・ 通年利用を想定した温水プール
- ・ 年齢や泳力にかかわらず多世代が利用する事ができる機能
- ・ 学校授業等で使用する事ができるプール機能
- ・ 幼児が使用する事が出来るプール機能
- ・ 高齢の方や足の不自由な方でも使いやすいプール機能
- ・ 水泳競技の利用を維持し既存大会の開催が可能な機能

◆ 絵本館機能

- ・ 幼児/小学生の利用を想定した本の配架
- ・ 親子での利用を配慮したレイアウト
- ・ 落ち着いて読書が利用出来るスペース
- ・ 読み聞かせが出来るスペース
- ・ ボランティアやサークル団体等と連携可能な機能

◆ 多目的ルーム(世代交流センター)機能

- ・ 会議やサークル活動で活用可能な会議室機能
- ・ 空室時は絵本館利用者などが日常的に活用可能な設備
- ・ スタジオ運動やフィットネスで活用が可能な機能

基本の方針（令和 5 年 9 月「倶知安町営プール絵本館複合拠点施設整備基本計画」より抜粋）

令和2年11月13日	プール建物診断調査業務委託 (R2.11.13-R3.3.31)
令和3年6月30日	調整会議
令和3年8月2日	町営プール検討プロジェクトチーム【第1回】
令和3年9月29日	俱知安町プール建替基本構想策定業務委託 (R3.10.5-R4.9.30)
令和3年10月1日	俱知安町スポーツ推進審議会
令和3年11月4日	町営プール検討プロジェクトチーム【第2回】
令和3年11月29日	利用者アンケート調査 (R3.11.29-12.17)
令和3年11月29日	利用団体ヒアリング調査
令和4年2月14日	施設管理者ヒアリング調査
令和4年2月14日	町営プール検討プロジェクトチーム【第3回】
令和4年4月19日	俱知安町社会教育施設個別施設計画 (R4.4.19-R5.3.31)
令和4年5月11日	町民アンケート調査 (R4.5.11-5.25)
令和4年5月31日	町営プール検討プロジェクトチーム【第4回】
令和4年7月27日	町営プール検討プロジェクトチーム【第5回】
令和4年8月23日	俱知安町スポーツ推進審議会
令和4年9月21日	町営プール検討プロジェクトチーム【第6回】
令和4年9月28日	調整会議 (調整会議 R4.9.28 /政策会議 R4.9.30)
令和4年10月25日	俱知安町スポーツ推進審議会
令和4年11月28日	俱知安町営プール建替基本計画策定業務委託【俱知安町営プール絵本館複合拠点施設整備基本計画】 (R4.11.28-R5.9.30)
令和4年12月23日	絵本館の建替に係るワークショップ【第1回】
令和5年1月25日	プール絵本館検討プロジェクトチーム【第1回】
令和5年1月27日	絵本館の建替に係るワークショップ【第2回】
令和5年2月10日	絵本館の建替に係るワークショップ【第3回】
令和5年2月14日	利用団体ヒアリング調査 (R5.2.14-3.2)
令和5年2月24日	絵本館の建替に係るワークショップ【第4回】
令和5年3月10日	絵本館の建替に係るワークショップ【第5回】
令和5年3月13日	小中学生向け絵本館アンケート調査 (R5.3.13-3.31)
令和5年3月15日	一般向け絵本館アンケート調査 (R5.3.15-4.16)

令和5年4月28日	絵本館の建替に係るワークショップ【第6回】
令和5年6月21日	民間事業者ヒアリング (R5.6.23-7.18)
令和5年6月27日	プール絵本館検討プロジェクトチーム【第2回】
令和5年7月5日	仮設絵本館設置工事 (R5.7.5-11.30)
令和5年7月5日	仮設絵本館設備上 (R5.11.1-R9.4.30)
令和5年7月25日	俱知安町スポーツ推進審議会
令和5年8月7日	利用団体意見交換会
令和5年9月8日	絵本館の建替に係るワークショップ【第7回】
令和5年9月20日	プール絵本館検討プロジェクトチーム【第3回】
令和5年9月21日	俱知安町スポーツ推進審議会
令和5年9月22日	調整会議 (調整会議 R5.9.22 /政策会議 R5.10.2)
令和5年9月29日	仮設絵本館移転作業業務委託 (R5.9.29-12.15)
令和5年11月23日	既存絵本館 (青少年センター／世代交流センター) 最終営業日
令和5年12月8日	仮設絵本館開館 (借上期間 R5.11.1-R9.4.30)
令和6年2月20日	俱知安町営プール絵本館複合拠点施設建替基本及び実施設計に係るプロポーザル 技術提案プレゼンテーション及びヒアリング【町民公開】
令和6年4月11日	俱知安町営プール絵本館複合拠点施設建替基本及び実施設計に係るプロポーザル結果公表
令和6年4月24日	俱知安町営プール絵本館複合拠点施設建替基本及び実施設計業務委託 (R6.4.24-R7.3.28)
令和6年4月25日	プール・絵本館利用団体ヒアリング
令和6年5月9日-10日	住民説明会 (R6.5.9-10 計3回開催)
令和6年9月17日-30日	パブリックコメント
令和6年9月26日	住民説明会 (R6.9.26 計2回開催 景観条例に基づく住民説明会 兼ねる)
令和7年3月24日	俱知安町営プール絵本館複合拠点施設建替基本及び実施設計業務 完了
令和7年8月22日	建設工事 (建築主体／電気設備／機械設備) 着工 (工事期間R7.8.22-R9.5.31)
令和7年12月20日	令和7年度子育て講座講演会 講師：吉成 信夫氏 テーマ：「本と子育てをむすぶもの」
令和8年3月16日	新複合施設愛称選定委員会及び中高生WC設置 (4月公募予定)

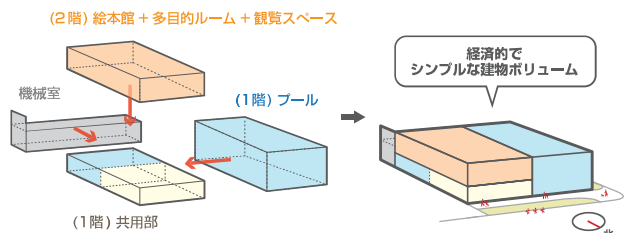
■施設の位置付け

多世代・多国籍交流を促し、長く親しまれる「文化の中核」

- ・計画地周辺は公共施設が集約する「公共業務ゾーン」に位置し、町民は一度の外出で連続的な公共サービスを受けることができます。本計画により、多様な利用機会を創出し、周辺施設一体の利便性・機能性を向上させます。
- ・俱知安町はニセコリゾートの中心地にあり、スノーリゾートの発展や新幹線駅の開業、インターチェンジの開通などにより、子育て世代や外国人世帯などの増加が見込まれます。この場所にプール機能が加わることで、子育て支援や、健康増進の公共サービスを最大限に享受でき、周囲の学校などの施設との相乗効果により、多様性のある新しい世代・世帯が満足する「文化の中核」をつくります。



施設の位置付けイメージ



機能配置イメージ

(仮称) プール絵本館複合拠点施設

■配置・外構・外部計画のコンセプト

にぎわいがしみ出す屋外広場

- ・利用者の憩いの場となる屋外広場を計画します。

除雪がしやすい整形な駐車場計画

- ・冬の除雪作業に配慮し、駐車場は、まとまった整形な計画とします。

豪雪地帯であることに配慮した落雪・雪庇対策

- ・建物は、積雪に配慮したシンプルな形状とします。特に冬の卓越風による雪庇に対して、対策を行います。

■施設計画のコンセプト

分かりやすい機能配置とシンプルな建物ボリューム

- ・明確な機能配置で、経済的でシンプルな建物ボリュームとします。

誰もが快適に利用できるバリアフリー対応

- ・身体的な違いや国籍にかかわらず、快適に利用しやすいユニバーサルデザインの考え方に基づく施設のバリアフリー化をします。

多様な使い方ができる「まちのリビング」のような空間

- ・多目的ルームと絵本館は、利用状況に合わせて柔軟に活用できる計画とします。

地産地消の再生可能エネルギーで環境負荷を低減します

- ・再生可能エネルギー手法導入と効率的な設備システムの構築により環境負荷の少ない施設とします。



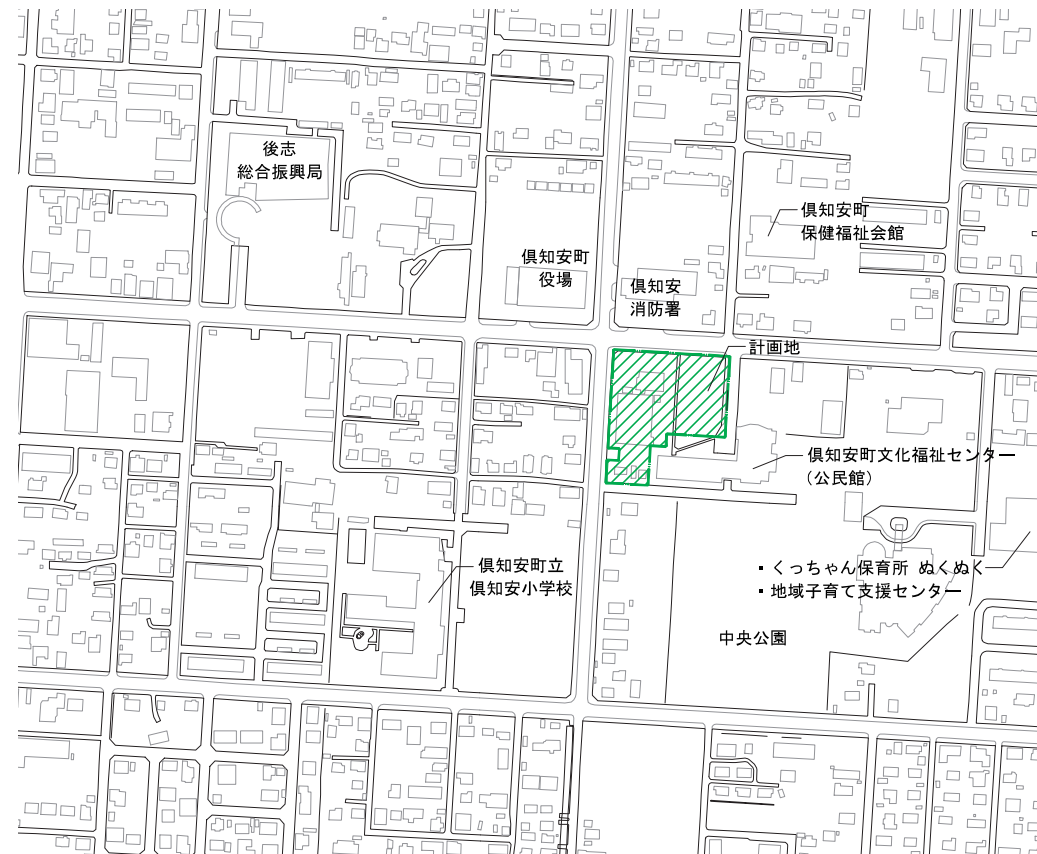
外観イメージ

■敷地概要

□建設地	: 北海道虻田郡倶知安町南 3 条東 4 丁目 1-2 の内、1-5 の内
□用途地域	: 第二種住居地域
□建蔽率	: 60%
□容積率	: 200%
□防火指定	: 指定なし（法第 22 条地域）
□景観指定	: 倶知安町景観計画区域
□高度利用地区	: 指定なし
□高度地区	: 指定なし
□敷地面積	: 約 6,571.07 m ²
□外構整備範囲面積	: 約 8,699.60 m ²
□日影規制	: 4 時間 2.5 時間（測定高さ H=4.0m）
□前面道路	: 北側 18.00m（第 42 条 1 号）町道 南側 11.00m 内現況道路幅員約 6.50m（第 42 条 3 号）既存道路 西側 16.00m（第 42 条 1 号）町道
□洪水ハザードマップ	: 浸水深 3.0m 以上 ~5.0 m未満

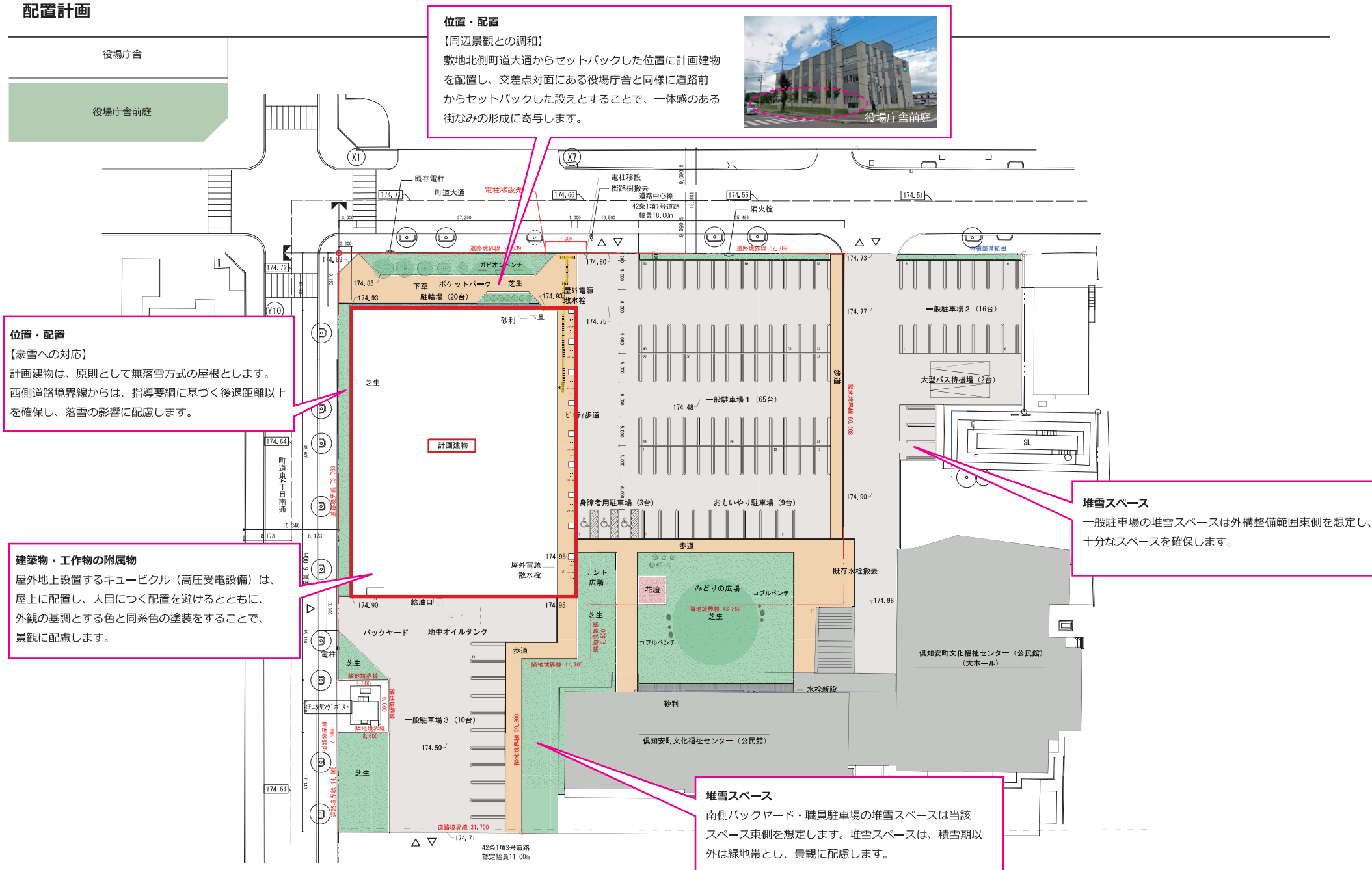
■建物概要

□建物用途	: 複合施設（屋内プール・図書館）
□工事種別	: 新築
□建築面積	: 1,861.95 m ²
□延床面積	: 2,474.44 m ² （1 階 1,693.44 m ² ・2 階 781.00 m ² ）
□容積対象床面積	: 2,464.51 m ²
□計画建蔽率	: 28.34%
□計画容積率	: 37.51%
□階数	: 地上 2 階
□高さ	: 10.78m
□構造種別	: 鉄筋コンクリート造
□耐火種別	: 耐火建築物
□基礎地業	: 杭基礎
□駐車台数	: 一般駐車場 84 台 身障者駐車場 3 台 思いやり駐車場 9 台 ひろびろ駐車場 10 台 大型バス待機場 2 台
□駐輪台数	: 20 台
□敷地内緑地面積	: 673.43 m ² （敷地に対する緑被率 10.24%）



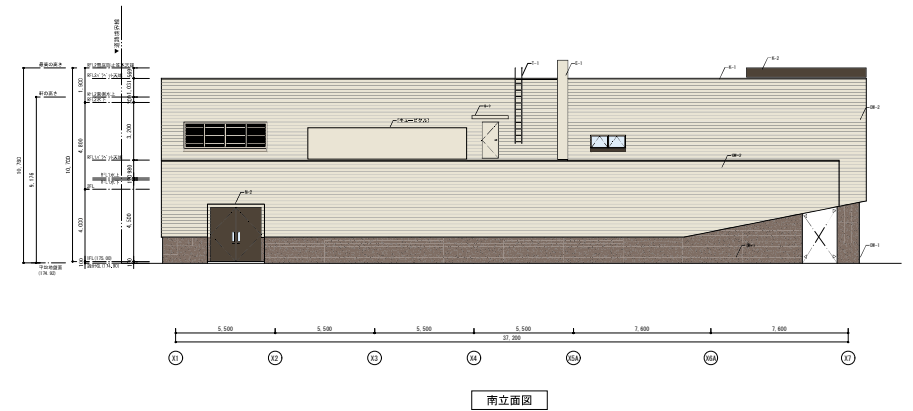
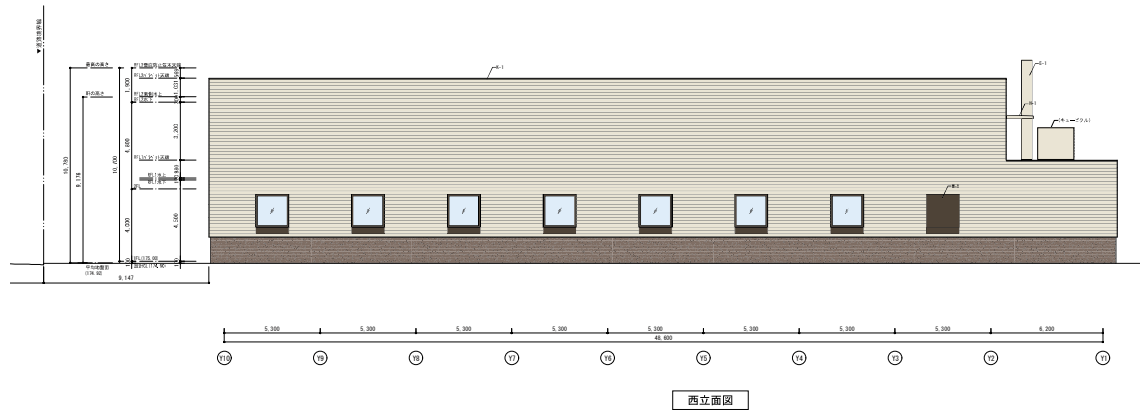
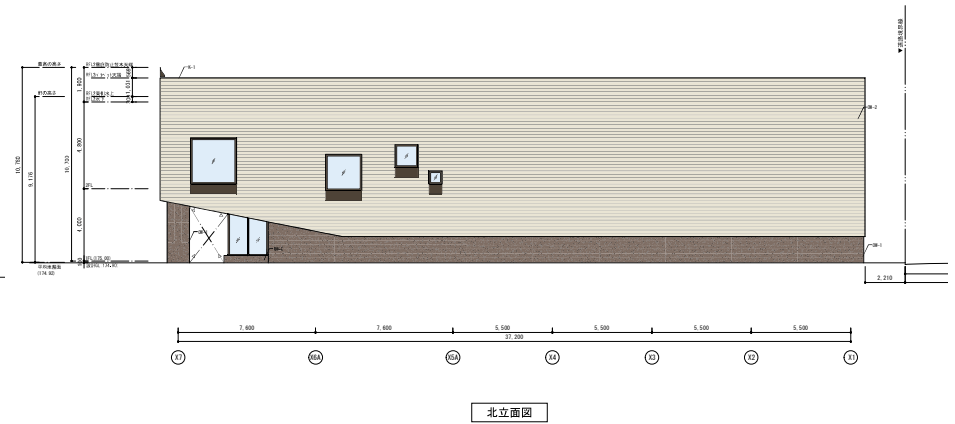
計画概要

配置計画



配置計画図

立面計画



形態・意匠（色彩）

【周辺景観との調和】

基調とする色彩は、役場庁舎の外観色を踏襲し、一体感のある街なみの形成に寄与します。アースカラーを基調とし、周囲の豊かな自然環境と、街なみの調和を両立させます。

着彩立面图

■ 2 階計画

【絵本館（図書スペース）】

- ・パーテーションを設け、塩素と湿気をシャットアウトします。
- ・利用者の出入りを把握しやすい位置に事務カウンターを計画します。
- ・絵本館（図書スペース）事務バックヤードを計画します。
- ・給湯機能のあるマルチルームを計画します。

【多目的ルーム】

- ・移動間仕切りにより区画し、集会利用や絵本館（図書スペース）を拡張するなど柔軟に利用できる計画とします。
- ・多目的ルーム1は絵本館（図書スペース）利用者の活用を想定し、多目的ルーム2・3はプール利用者やスタジオ等での活用を想定し、必要設備等を検討します。

【観覧スペース】

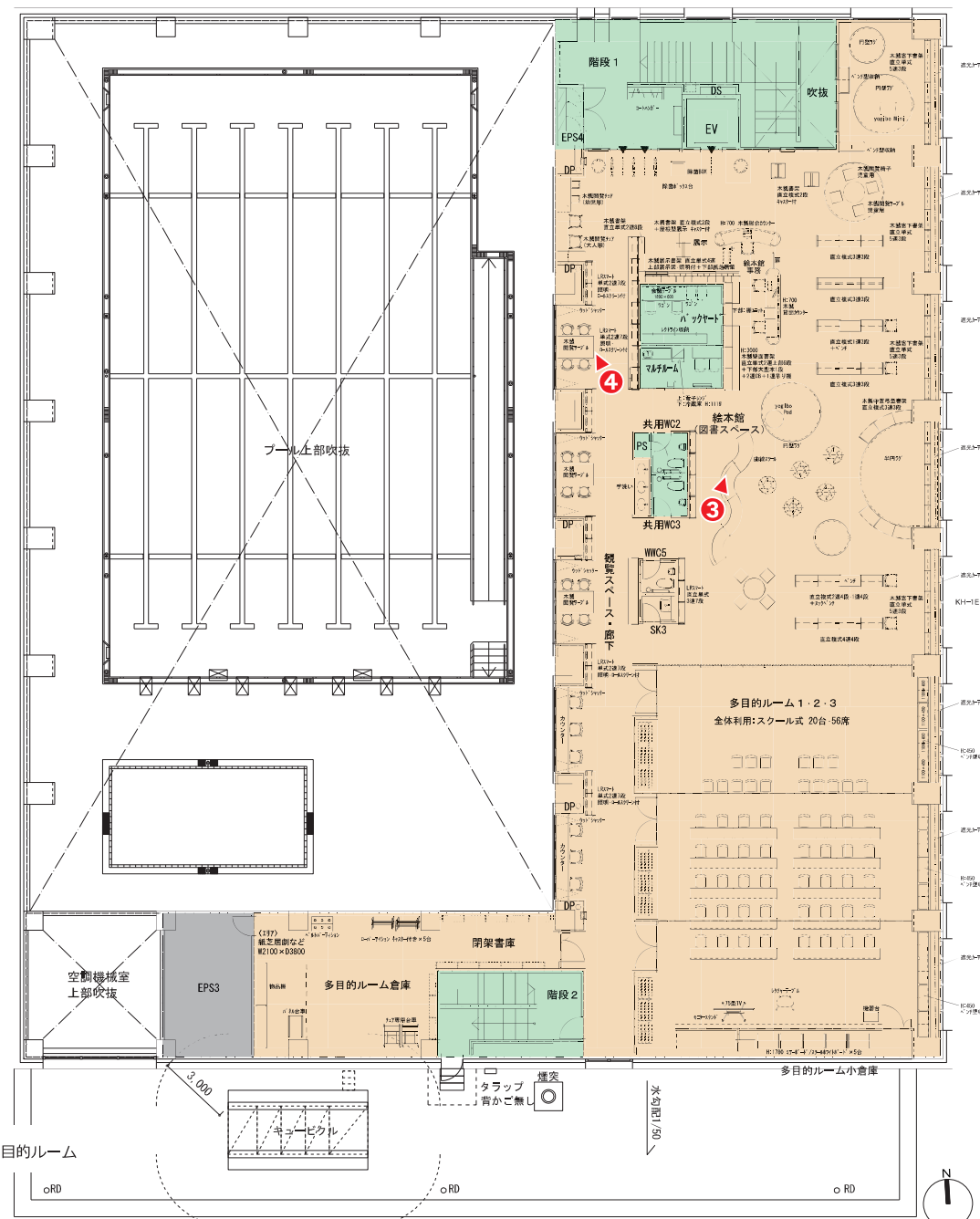
- ・絵本館（図書スペース）の一部として利用できる計画とします。
- ・プールへの視認の有・無は、木製建具により、容易に開閉し、切り替えができる設えとします。



③ 絵本館（図書スペース）内観イメージ



④ 観覧スペースイメージ



プール計画

■プール規模計画

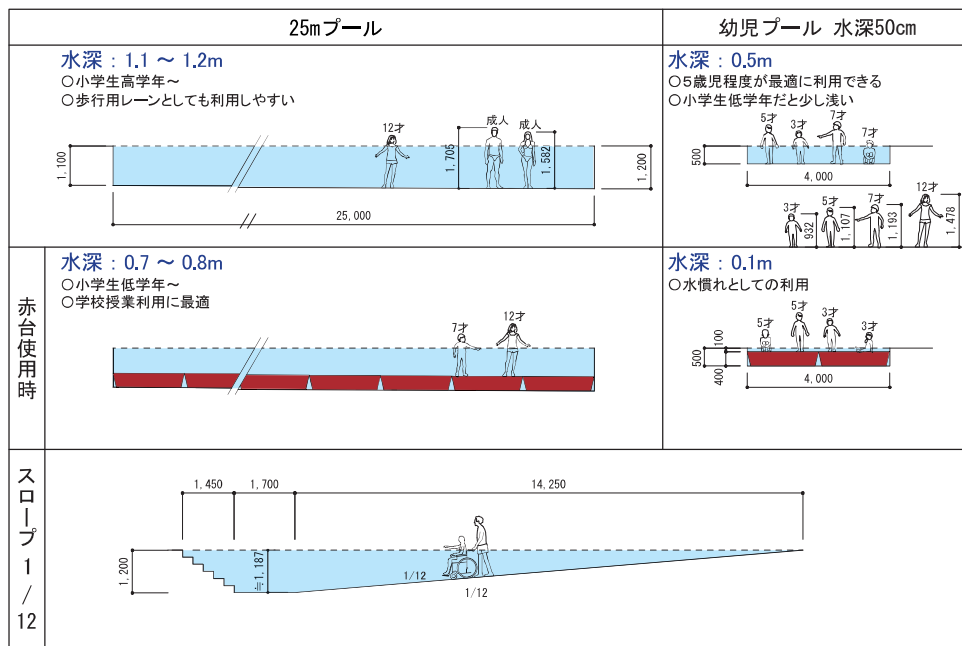
- ・メインプールは全長 25 m、7レーン＋入水スロープ（1/12 勾配）及び入水階段として計画します。
- ・幼児用プールは 8 m×4 m として、全面に赤台の設置ができることを想定した計画とします。

■プール水深計画

- ・25 プールは、学校授業利用時や歩行用レーンとして利用がしやすく、幅広い世代にとって使い勝手がよい水深 1.1 ～ 1.2 m とします。赤台（高さ 0.4 m）の設置時には水深 0.7～0.8 m として、低学年の学校授業利用時に対応できる計画とします。
- ・幼児用プールは水深 0.5 m に設定し、赤台（高さ 0.4 m）の設置時には水深 0.1 m として乳幼児の利用に対応できる計画とします。

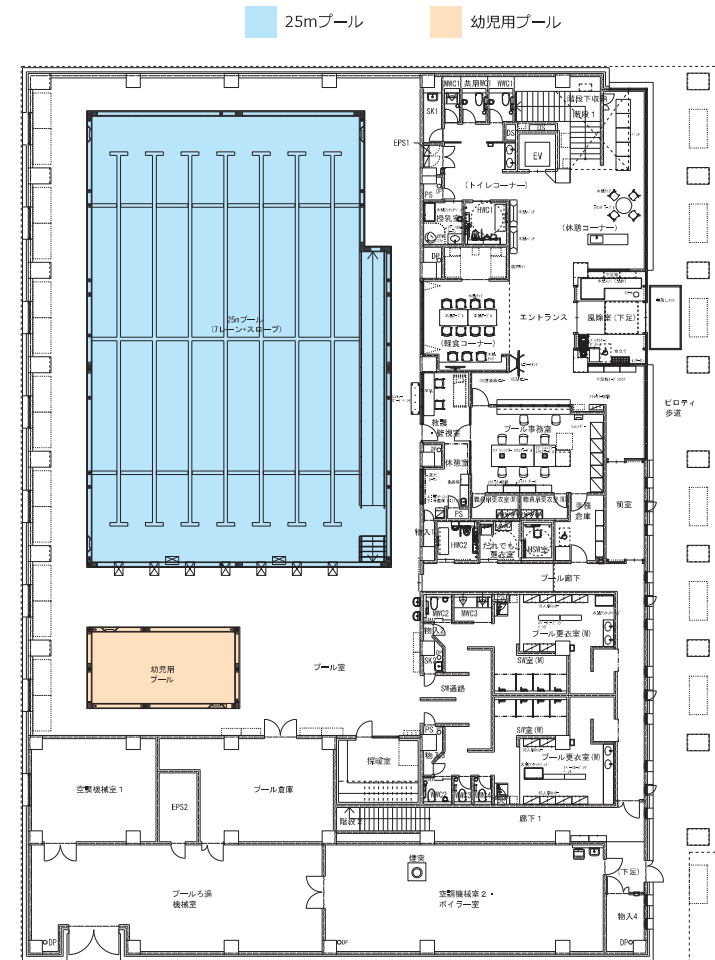
■プールサイド計画

- ・南面プールサイドは、学校授業利用時に計 80 名程度（2 クラス分）を収容できるスペースを確保します。
- ・西面プールサイドは、柱型のアルコーブを利用した赤台の収容を想定します。
- ・プールサイド水際（オーバーフロア部）は 4 面フラットな形状とし、各方面から入水がしやすく水の溜みのない衛生的な計画とします。
- ・各種休憩ベンチや物品棚は備品対応とし、利用状況や運営に応じて可変性のある計画とします。
- ・飛び込み台は脱着式として計画します。飛び込み台の設定にあたっては、「プール公認規則」（2023.4.1 公益財団法人日本水泳連盟）・「プール水深とスタート高さに関するガイドライン」（2019.3. 公益財団法人日本水泳連盟）に準拠した仕様とし、上記規則、ガイドラインの主旨を遵守した施設運営管理・指導を前提とするものとします。



※身長の目安は全国平均による
 ※赤台は標準的な H=400

プール水深検討図



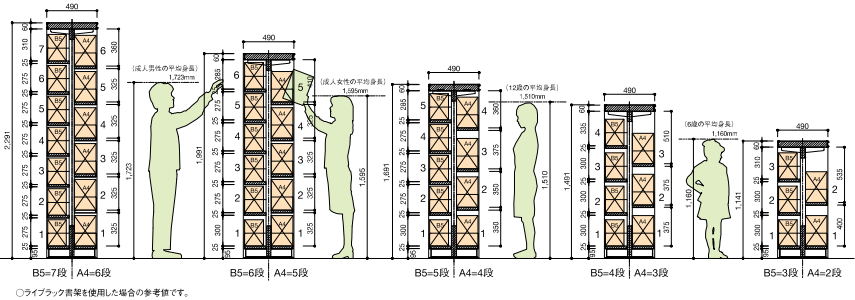
1 階平面図



書架計画

・本計画における書架計画は、以下の参考値を基準に冊数を計画します。

■書架棚割りの参考値



■収容冊数の参考値

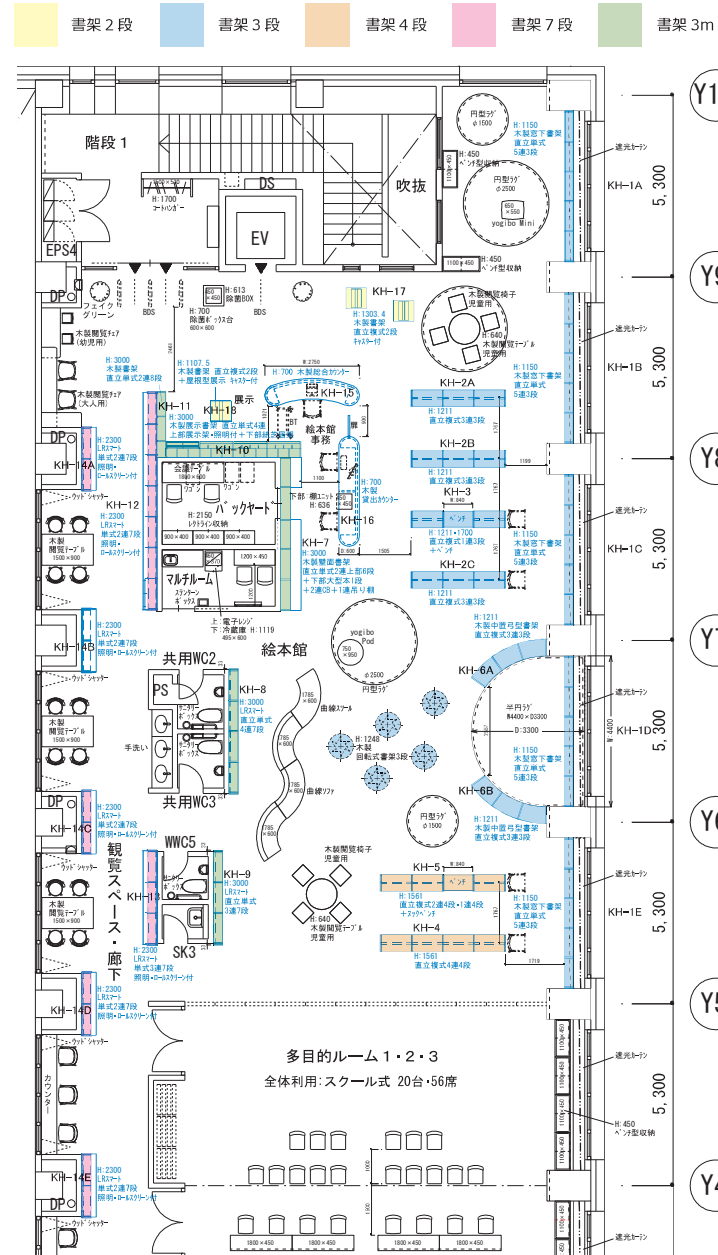
書架1棚の収容冊数(棚幅寸法900mm)

一般	(棚/35冊)
文庫・新書	(棚/55冊)
児童書	(棚/45冊)
絵本	(棚/60冊)
大型本・参考資料	(棚/25冊)
視聴覚資料(CD・DVD)	(棚/75ケース)

○一般書冊数は「日本図書館協会 図書館ハンドブック第6版 補訂2版」より引用。他冊数はキハラ独自の調査による数値。視聴覚資料はセキュリティケースに入れない場合の収容量です。

■想定蔵書数

大型絵本	: 約 60 冊
紙芝居	: 約 600 冊
開架収容冊数	: 23,161 冊 (大型絵本・紙芝居は含まず)



多目的ルーム計画

- ・多目的ルームは、絵本館（図書スペース）の拡張的な利用やサークル活動、読み聞かせ等での利用と、プール利用者の体操や談話、学校授業、スタジオ運動での利用を想定し、必要な設備や機能を設えます。

■ 通常時利用計画

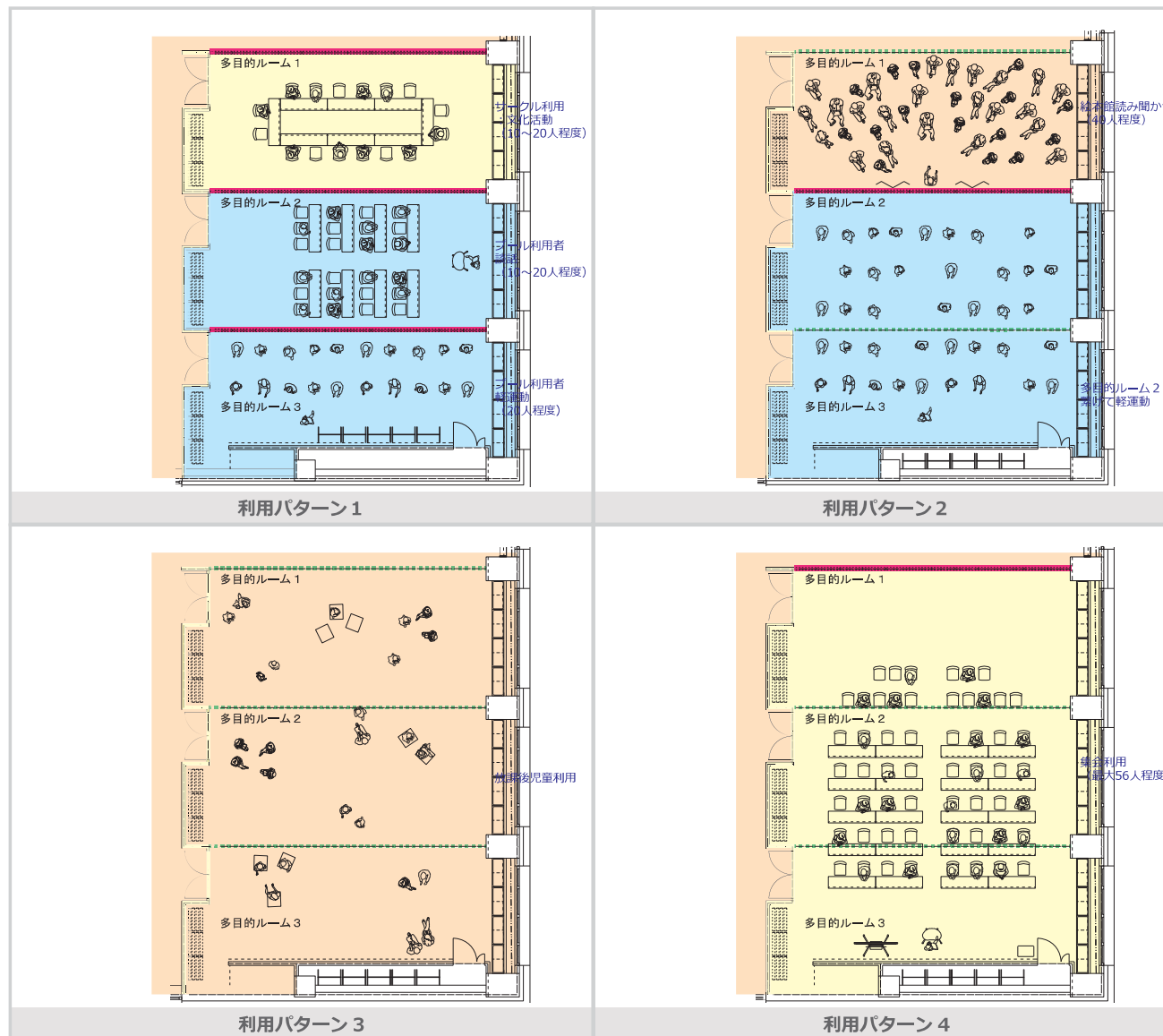
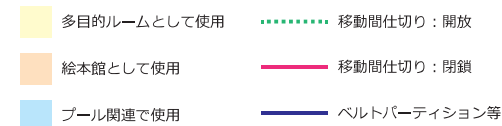
- ・多目的ルームは移動間仕切りによって区画します。多目的ルーム1を主として絵本館（図書スペース）活動、多目的ルーム2・3をプール利用者やスタジオ運動等での利用を想定し、絵本館（図書スペース）と一体的な空間としてイベント時に広く利用したり、多目的ルームの1室分を開けて放課後の遊び場として開放するなど、多様なパターンで施設を柔軟に利用できる計画とします。



多目的ルーム利用イメージ（ピクチャーレール利用）



多目的ルーム利用イメージ（プロジェクター利用）



多目的ルーム計画

■大会時・学校授業時利用計画

- ・大会時には、多目的ルームは選手の控室や運営事務室としての利用を想定します。
- ・学校授業時には、多目的ルームは児童の更衣室としての利用を想定します。
- ・上記利用時には、絵本館（図書スペース）利用者との交錯がなき様、ロブパーテーション等による区画を想定します。

絵本館として使用

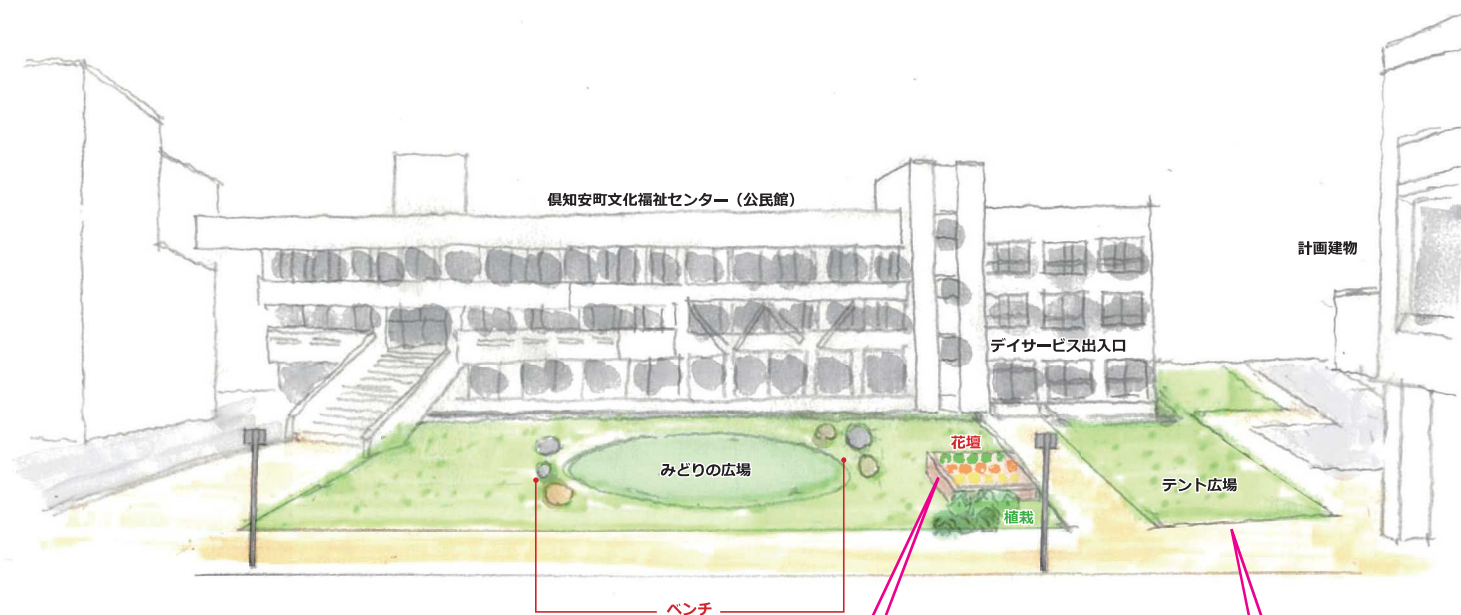
ブルー関連で使用

移動間仕切り：開放

移動間仕切り：閉鎖

ベルトパーテーション等





「みどりの広場」

・「みどりの広場」は下記の利用を想定し、幅広い世代が利用しやすい屋外の交流の場として計画します。

- ① 近隣保育所等による幼児の広場的利用
- ② イベント利用（地域お祭り・サイクルイベント）
- ③ デイサービスや町内会の花壇利用



これまでのイベント利用の様子（ニセコクラシックファンライド）



これまでのデイサービスセンターの方々による花壇の様子

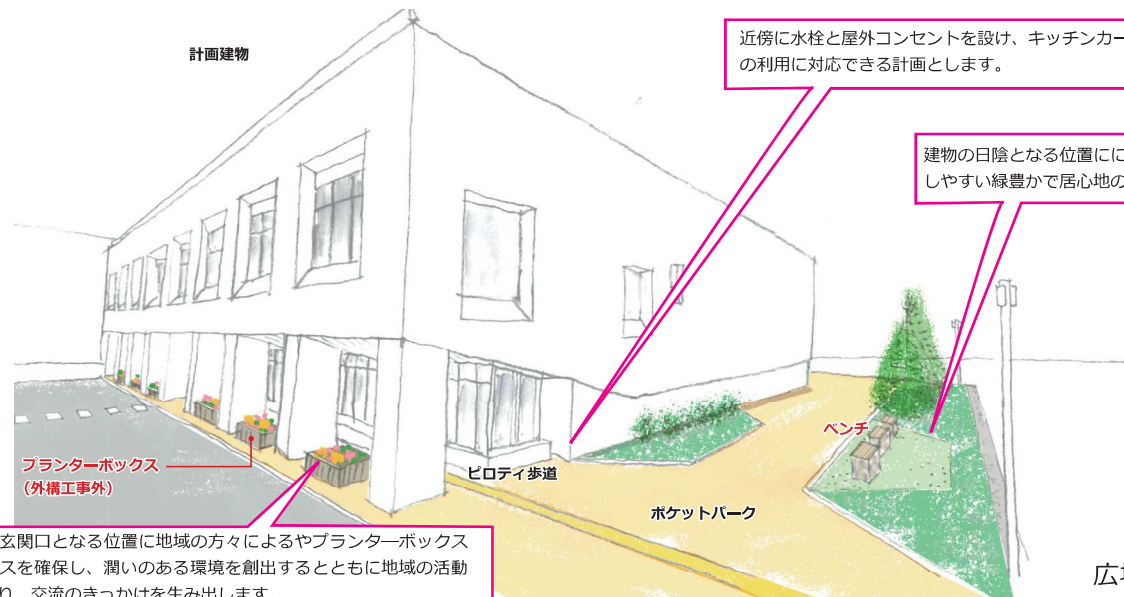
花壇の設置を想定し、花や野菜の育成ができるように設えます。広場や花壇をきっかけとした利用者のコミュニケーションのきっかけとなるよう、多世代交流の活性化に寄与できる計画とします。

イベント時のデント設置を想定します。近傍に水栓と屋外コンセントを設け、イベント開催時等に活用が可能な計画とします。

「ポケットパーク」

・「ポケットパーク」は下記の役割を担う屋外スペースとして想定します。

- ① 公民館を含めた「文化の中核エリア」へと誘う散策路としてのウェルカムガーデン
- ② 日陰で一息つける休憩スペース
- ③ 町内会や学生のプランターボックス利用



近傍に水栓と屋外コンセントを設け、キッチンカー等の利用に対応できる計画とします。

建物の日陰となる位置に子どもやお年寄りが休憩しやすい緑豊かで居心地のよい屋外環境をつくります。

計画建物への玄関口となる位置に地域の方々によるプランターボックスの設置スペースを確保し、潤いのある環境を創出するとともに地域の活動の可視化を図り、交流のきっかけを生み出します。

広場イメージ図

■ 地場産材（地域材）の活用

- ・ こども向け図書館へ木製家具の導入は、こどもの心理的安定や、学習環境の向上において多くのメリットがあります。
- ・ 特に、地場産材（その地域で育った木材）を使って作られた家具は、環境への配慮、地域経済の発展に貢献し、家具の愛着にもつながり飽壊。

<地場産材を使った木製家具導入のメリット>

● リラックス効果と集中力の向上

木材の香りに含まれる「フィトンチッド」などの成分には、ストレスを緩和し、血圧を安定させるリラックス効果があります。また、木材率の高い空間では「あたたかみ」や「なごみ」を感じやすく、子供が落ち着いて読書や学習に集中できる環境が整えられます。

● 五感への刺激と情操教育

木は視覚的に目に優しく、触れると人肌に近い温もりを感じさせます。この「冷たくない」という特性は、子供が長時間座り続けたり遊びに没頭したりするのを助け、豊かな感性を育むことにつながります。

● 安全性と耐久性

角を丸める加工が容易であり、万が一衝突した際も衝撃を和らげる性質があります。また、使い込むほどに風合いが増し、愛着を持って大切に扱う心を養うことができます。

● 環境・地域学習の機会

地元の間伐材などを用いた家具を導入することで、SDGsや地域の林業・自然環境について学ぶ生きた教材となります。

■ 北海道産の家具材料

- ・ 北海道産のナラ（ミズナラ）やタモ（ヤチダモ）は、日本を代表する家具材として知られています。その美しさと品質の高さは、北海道特有の厳しい自然環境と広葉樹の宝庫であるという土壌から生まれています。
- ・ ささくれにくい堅牢な木肌は、こどもたちが利用する施設向け家具として長期に渡り安全に使用することができます。

<北海道産タモ（ヤチダモ）の特徴>

「木のクイーン」とも称され、明るくナチュラルな雰囲気と、力強い直線的な木目が魅力です。

特徴：圧倒的な強度と弾力性と加工性の良さ



<北海道産ナラ（ミズナラ）の特徴>

「ジャパニーズオーク」として世界的に有名で、かつてはヨーロッパへ大量に輸出され、高級アンティーク家具の材料としても重宝されました。

特徴：美しい木目と質感と高い耐久性&重厚感



■道産材活用家具の施設への導入

ベンチコーナー

談話やコミュニティバス「じゃがりん号」の待合としても使えるベンチです。



画像はイメージです

休憩コーナーのテーブル・椅子

配置の自由度が高い可搬式家具とします。こども町民利用が主体となるため、温かみのある感触の良い木製家具を導入します。



休憩コーナーテーブル
道産タモ

休憩コーナー椅子
道産ナラ

休憩コーナーベンチ
道産タモ

軽食コーナーのテーブル・椅子

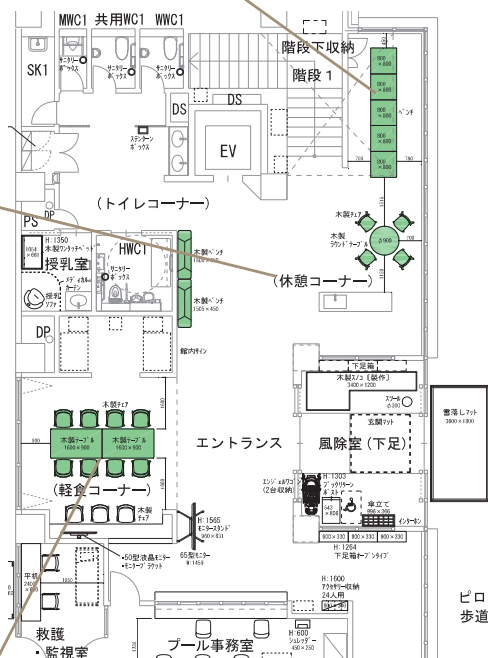
主玄関の正面に位置し、プール観覧や軽食、談話も可能なスペースで、温かみのある、木材を使用した家具を配置します。



軽食コーナーテーブル
道産ナラ

軽食コーナー椅子
道産ナラ

1階



ピロ
歩道

展示コーナー

エレベーター正面、施設の顔になる場所には、企画展示や季節イベントなどの展開が映える木製什器とします。



画像はイメージです

展示コーナー書架
道産タモ

カウンター

貸出・返本の手続きや、検索のお手伝いをする場所になるので、優しい印象を持ってもらいたいため木製家具を設置します。



画像はイメージです

貸出カウンター
道産タモ

閲覧コーナーの机・椅子

最も長い時間身体に触れる場所なので冬場でも冷たさを感じにくく、リラックスして読書を楽しめるようにします。



閲覧コーナーテーブル
道産タモ

閲覧コーナー椅子
道産タモ



幼児コーナーテーブル
道産ナラ

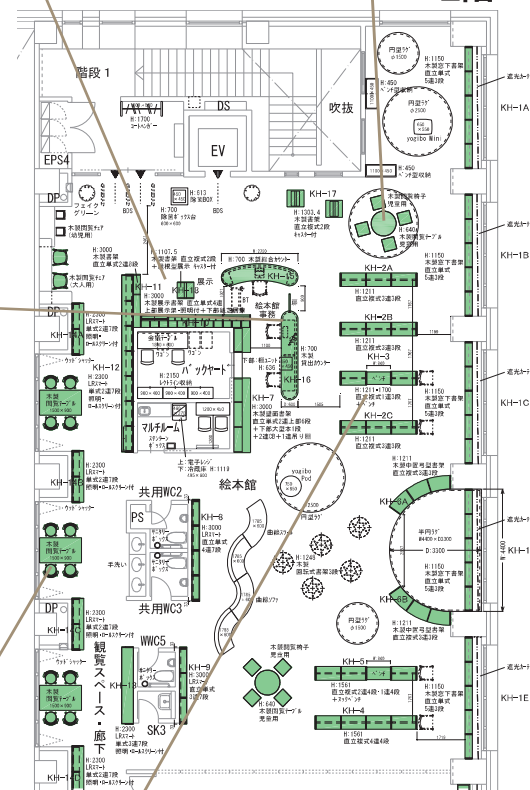


幼児コーナー椅子
非道産材

幼児閲覧コーナーの机・椅子

えほんの楽しさに触れ合える場所です。冬場でも冷たさを感じにくく、リラックスして読書を楽しめるようにします。

2階



書架(本棚)

子供の目線に近い位置にある書架に木材を使用することで、空間全体が明るく、圧迫感のない優しい印象になります。



画像はイメージです

■再生可能エネルギー「地中熱ヒートポンプ」導入

・本施設では地中熱利用による空調設備（プール部分の暖房は除きます。）を導入します。

①設備運用計画、空調負荷：地中熱利用の対象空調エリアについて、稼働時間や稼働日数の想定に基づき、年間の冷暖房負荷を設定。

稼働時間 絵本館：10:00～18:00（8時間）、共用部：10:00～20:30（10.5時間）

空調時間 絵本館：9:00～18:00（9時間）、共用部：9:00～20:30（11.5時間）、

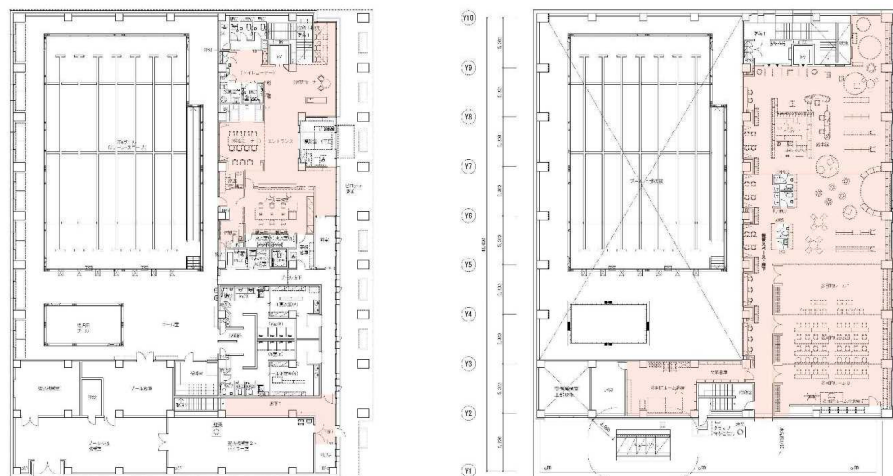
稼働日 6日/週（週1日定休日）

②空調エリア 絵本館（図書スペース）：図書コーナー、バックヤード、マルチルーム、観覧スペース、多目的ルーム1～3、閉架書庫
共用部：エントランス、休憩コーナー、軽食コーナー、廊下1・下足
プール事務室、救護・監視室 合計 886㎡

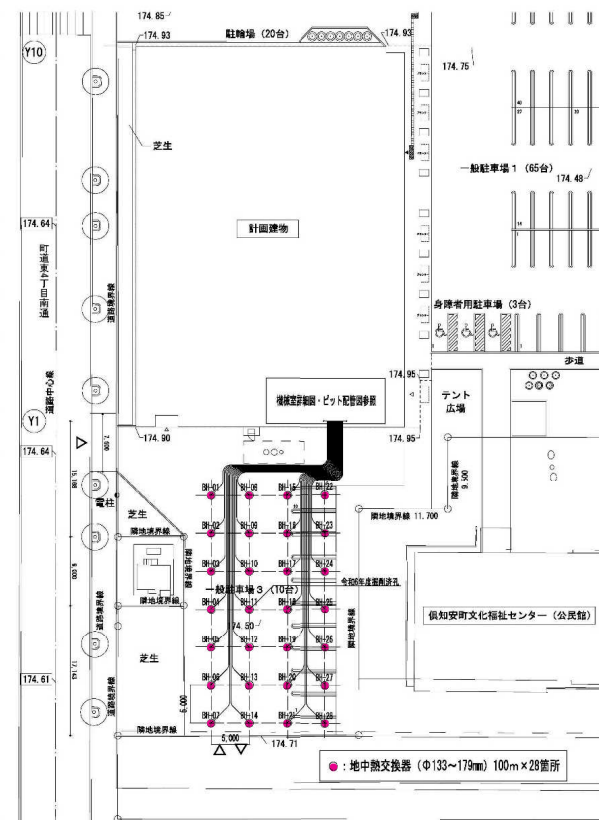
・下記図のエリアについて、地中熱ビル用マルチエアコンによる空調を実施します。

・CO₂削減量：本施設で導入するシステムによる年間のCO₂削減量の試算結果は以下の通りです。

地中熱ヒートポンプシステム導入によるCO₂削減量： 10.7 t-CO₂・年



施設平面図・地中熱ビル用マルチエアコンによる空調エリア

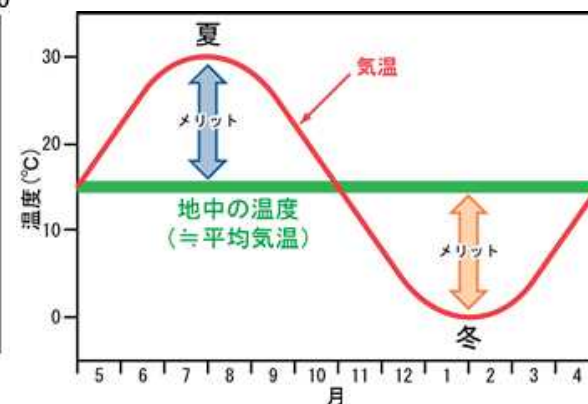
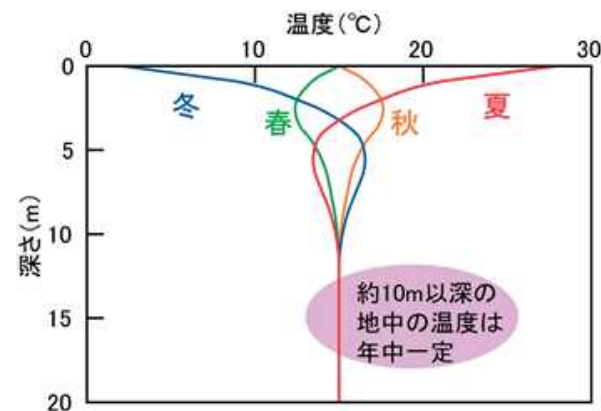


ボアホール配置図

■再生可能エネルギー「地中熱ヒートポンプ」導入

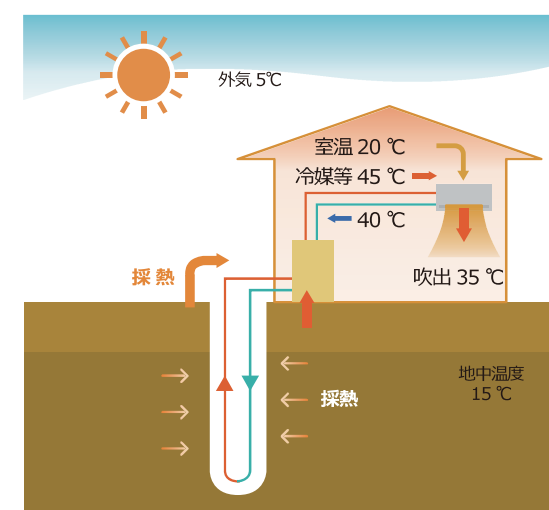
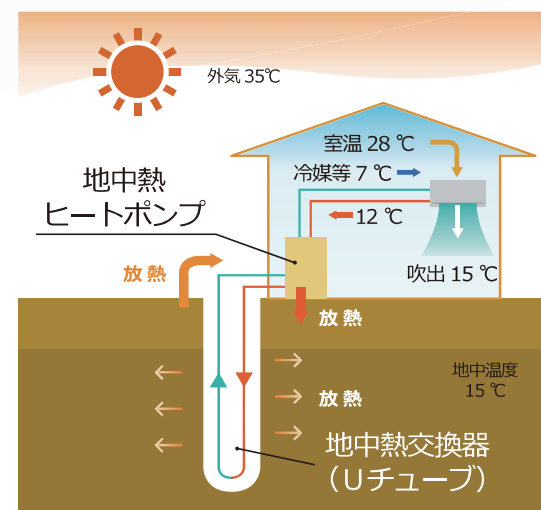
1. 地中熱とは？

- ・地中熱は私たちの足もとにある再生可能エネルギーです。
- ・再生可能エネルギーというと、利用できる場所や時間帯の制約があるものが多いのですが、安定した温度環境にある地中熱は、いつでもどこでも利用できます。
- ・火山の近くや温泉で利用できる地熱と違って、地中熱は太陽熱が地表近くに蓄えられたもののなです。太陽熱が時間をかけて地中に伝わり、10 mくらいの深さになると、地中の温度はその地域の年平均気温とほぼ同じ値になります。
- ・安定したエネルギー源ですから、エネルギーを計画的に利用することができます。



2. 地中熱ヒートポンプシステムとは？

- ・地中熱を最大限に利用できるのが地中熱ヒートポンプシステムです。省エネ機器の代表格であるヒートポンプに、再生の地中熱を組み合わせ、最も高いエネルギー効率で、冷暖房・給湯・融雪が実現できるのが地中熱ヒートポンプです。
- ・地中熱ヒートポンプは、エアコンで使われているヒートポンプ（空気熱ヒートポンプ）と基本的な仕組みは同じです。エアコンとの違いは、外気から熱を採ったり、外気に熱を放出したりせず、地中から採熱して暖房、給湯などを行い、地中に放熱して冷房を行うところです。冬は外気に比べ地中の温度が高く、夏は地中の方が温度は低いため、冬の暖房、夏の冷房がエアコンより効率的にでき、省エネ性がより高くなります。CO₂削減効果も大きく、また、夏の冷房排熱が外気に放出されないため、ヒートアイランド現象の抑制に役立ちます。
- ・寒冷地でエアコンが使えないところでも、地中熱ヒートポンプは働きます。石油などの化石燃料のボイラーを、地中熱ヒートポンプに置き換えると、CO₂の排出量を大幅に削減し、燃費も抑えることができます。

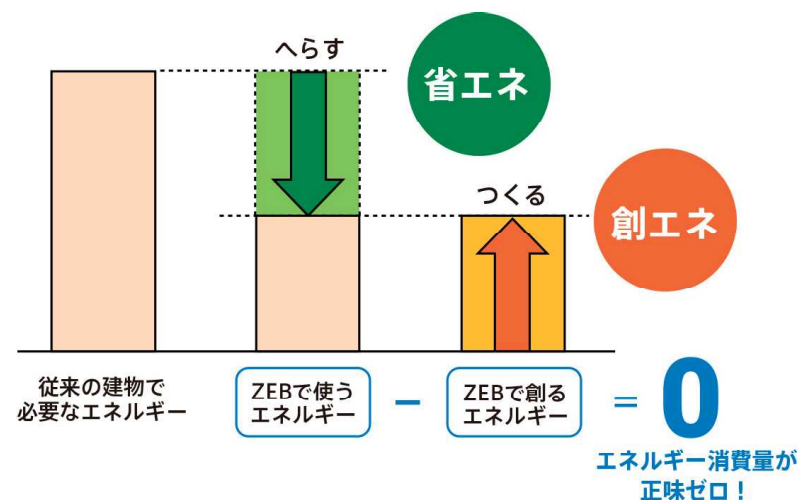


地中熱ヒートポンプシステムのしくみ

■省エネ性能「ZEB Oriented 相当」の達成について

1. ZEB とは？

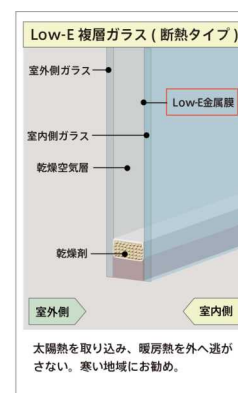
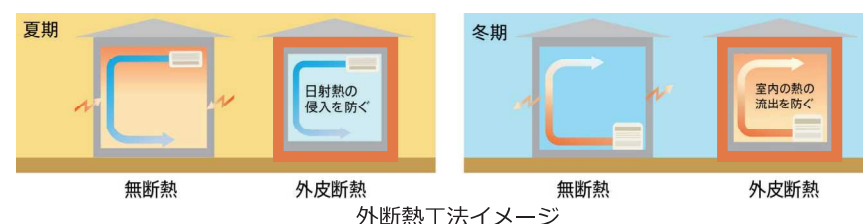
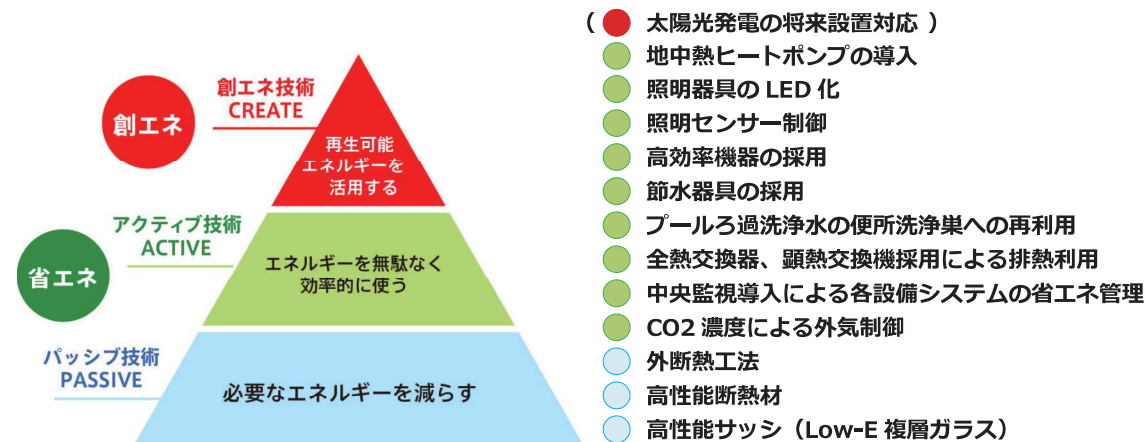
- ・ZEBは「Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング）」の頭文字をとった略称です。
- ・ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング）とは、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギー化を実現したうえで、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した建築物をいいます。
- ・一次エネルギーとは、自然界から直接採取できるエネルギー源を指します。石油、石炭、天然ガスなどの枯渇性のものと、太陽光、太陽熱、風力、水力、地中熱など再生可能なものに分類されます。
- ・建築物利用による年間での一次エネルギーの消費量を削減するためには、建築物や設備のエネルギー性能の向上が重要です。
- ・具体的には、地中熱ヒートポンプによる自然エネルギーの積極的な活用や、高効率な設備システムを導入するなどさまざまな工夫を取り入れつつ、室内環境の質を維持しながら大幅な省エネルギー化を実現します。



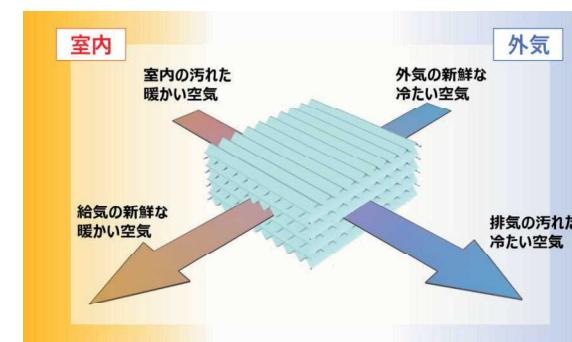
ZEBの基本的な考え方

2. 本施設でのZEBの取り組みについて

- ・ZEBの取り組みとして、様々な省エネの施策を行い、環境負荷の低減を実現します。



Low-E複層ガラスイメージ

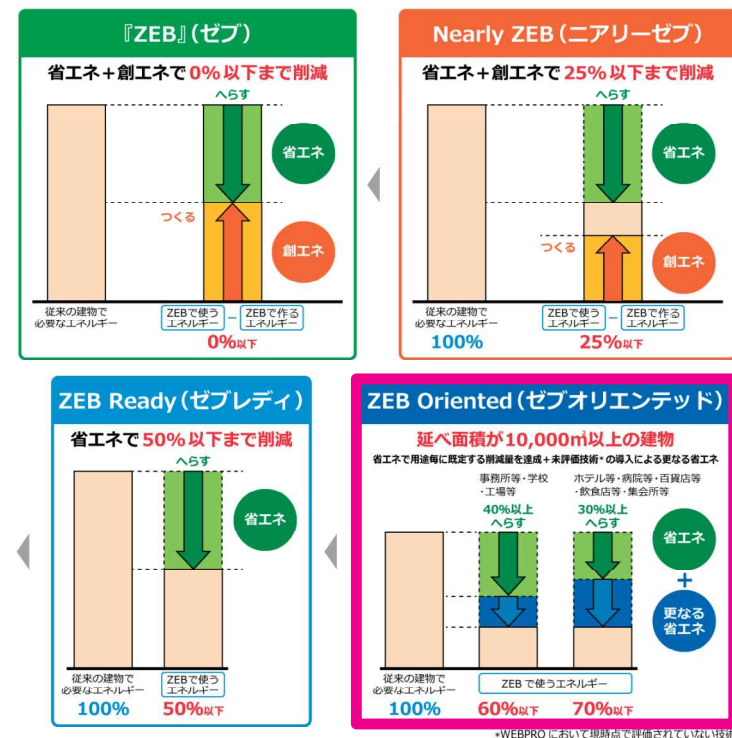


全熱交換器イメージ

3. 本施設で達成する ZEB の基準

- ・ ZEB は、エネルギー削減の達成度によって 4 つの段階に分類されています。
- ・ 本施設では、「ZEB Oriented」（ゼブオリエンテッド）を設計目標に設定しました。
- ・ 本施設は建築物省エネ法上は「集会場等」に該当し、「省エネ 30%削減 + プログラム未評価技術の導入」が「ZEB Oriented」の条件となります。また、建築物省エネ法の規定で、「集会場等」の場合、 $BEI \leq 0.85$ が義務付けられています。
- ・ 地中熱ヒートポンプの導入をはじめ、2. で列記した省エネ施策の導入により、本施設は「 $BEI=0.69$ 」となり、「ZEB Oriented」相当※を達成できる設計です。

※建築物省エネ法では、延床面積 10,000 m²以上の建築物に対して、「ZEB Oriented」の認証が交付されますが、本施設は 10,000 m²未満であるため、「ZEB Oriented」相当と定義しました。



←本施設が達成する
「ZEB Oriented」相当

ZEB の達成段階

■ 利用者の想定

町民の利用

- ・交流拠点として子どもからシニアまで世代や国籍を問わず幅広い利用を想定
- ・子どもたちが集える場として絵本館や多目的ルームを活用
- ・専門ノウハウを持つ指定管理者によるシニア世代への介護予防事業を実施

団体・サークル活動

- ・幼児／小学生／シニア向け等で実施されていた各活動を新施
- ・指定管理者との連携・協力により自主事業等による幅広い世代の定期的な利用を期待
- ・絵本館 / 多目的ルームを活用し、読み聞かせや幼児向けサークル活動を実施
- ・子育て活動やイベント等の拠点的な施設として活用
- ・水泳協会等による水泳大会の開催

■ 具体的な活用の想定①

指定管理事業者の自主事業

- ・プール施設は管理ノウハウを持つ事業者による指定管理者制度の導入を想定。日常的な管理運営と併せて、サークル・少年団活動の状況も考慮した自主事業による水泳教室や多目的ルームを活用した健康教室等を実施

先進地域で実施している自主事業

- ・子ども（ベビースイミング、幼児向け、小学生）向け水泳教室
- ・夏休み短期水泳教室
- ・スタジオ運動（ヨガ、ストレッチ等）
- ・プールやスタジオを活用した高齢者向け介護予防運動

町外からの利用

- ・周辺町村に通年営業のプールがないことから、他町村からの利用が見込まれる。
- ・国内外から多くの観光客が訪れるニセコリゾートの中心地として、滞在者がインドアで利用可能な施設として活用
- ・大会や合宿、イベント等でプール及び多目的ルームを活用

学校授業（水泳授業）での利用

- ・既存プールでは小学校 5 校中 4 校が町営プールを利用しており、1 校は学校プールを活用
- ・新施設では町内義務教育学校すべての水泳授業を受け入れる事とし、平日午前中の利用を想定
- ・指定管理者と指導者の派遣／補助などの連携を検討する。

地域団体との連携

- ・旧プールで水泳協会で実施していた短期集中型の水泳教室を指定管理事業者との連携により再開する。
- ・水泳大会の開催時は 2 階観覧スペースと多目的ルームを活用

防災教育や訓練を実施

- ・倶知安町は一級河川に市街地が隣接していることから、水害対応の重要性が高い。中学生／高校生などで着衣水泳の実施することで防災教育を行うことが可能。
- ・リバーアクティビティが活発な地域でもあり、プール・多目的室を活用した救急救命の講習などの需要がある

■ 利用者の想定②

放課後子ども教室

- ・小学生を対象に、平日の放課後や土曜日、夏休み等に、小学校の余裕教室や体育館、公民館等において、多様な学習・体験プログラムを実施する取組
- ・多目的ルームは移動間仕切で可変性が高いため、絵本館と連動して多様な体験活動での利用を想定する。

例：学習支援（予習・復習、補充学習・ICTを活用した学習活動など）、体験プログラム（実験・工作教室、英会話、文化・芸術教室、地域探検、農業体験など）、スポーツ活動など

《地域の家庭教育支援等に資する取組》 後志管内発

「ありのまま」で過ごせる場所の提供 ～くっちゃん子ども子育て応援し隊 Popke Lab(ポッケラボ)～

くっちゃん子ども子育て応援し隊 Popke Lab(以下 ポッケラボ)は、令和元年10月に倶知安町に住むママさんが立ち上げた子育てボランティア団体で、倶知安町の家庭教育支援チームとして、子育て中の親を支える様々な活動を展開しています。また、令和4年度には、家庭教育サポート企業として道教委と協定を締結しています。



モルックで遊ぶ子ども達



大人と高校生が食事を提供

ポッケラボでは、発足から現在に至るまで続けられている「子育てサロン」や親子での遊びやイベント活動に加えて、今年度から地域でこどものココロとカラダを応援する「ココカラ」をスタートしました。

「ココカラ」は、月6回(毎週木・金曜日)、15時～18時に町内の北地域会館で親子や小・中・高校生を対象として、「遊び」「体験」「食事」を提供し、世代の違う人と話したり、遊んだり、自由に過ごすことのできる多世代の居場所です。

「ありのまま」で過ごせる場所があることで、子ども達は、「大人になる楽しみ」や「何が必要か」を発見することができ、大人にとっても「子育て」を地域全体で見守ることができる拠点として活動を続けています。



ポッケラボ公式ブログ

道教育局：家庭教育支援だより (R6.10)

社会福祉協議会との連携

- ・プール、多目的ルームを健康増進やサロン活動に利用（指定管理事業者と連携した介護予防運動など）
- ・絵本館での読み聞かせなど、子どもたちとの交流活動を実施
- ・シニア世代の活躍できる場や世代交流を創出する。

保育所・認定こども園等での活用

- ・幼児用プールは、プールフロアの活用により水深10センチ程度に調整でき、幼児が利用しやすい。
- ・多目的ルームを含めて絵本館を活用することで団体利用が可能。多目的ルームでの行事の実施や冬季／雨天時の遊び場所として活用が想定される。

観覧スペースの読書／学習スペースとしての活用

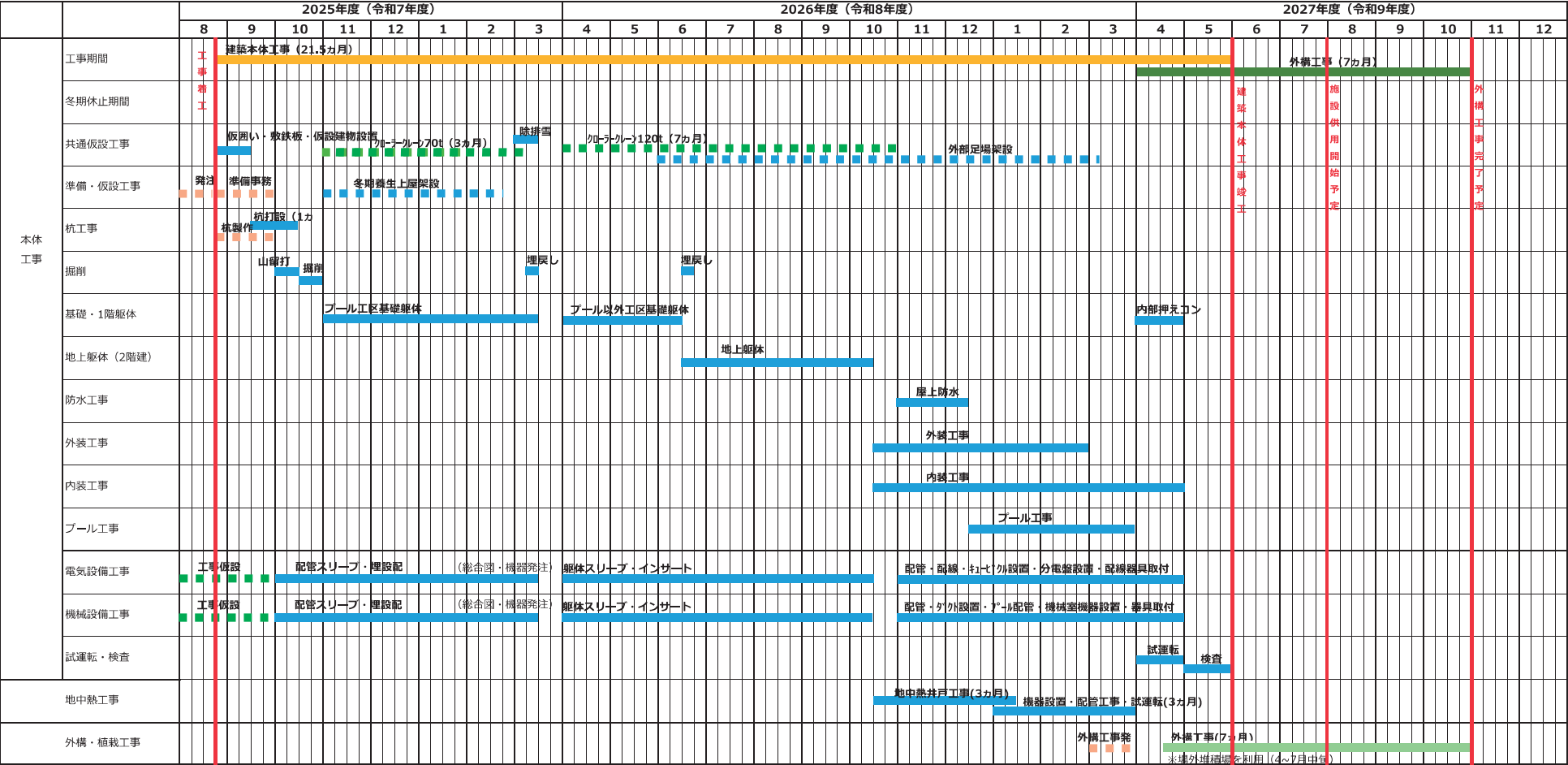
- ・2階の観覧スペースは窓の扉を閉じることができ、日常的には読書スペースや学習スペースとして活用することができる。
- ・中学生／高校生の学習場所や親子での読書利用などが可能であり、より多世代の利用を促進する。

リゾートエリアとしての需要

- ・国内外から多くの観光客が訪れるニセコリゾートの中心地であり、滞在者がインドアで利用可能な施設として活用、絵本館には外国語絵本も蔵書しており、多文化共生の場としても機能
- ・特に冬季は多くの外国人スタッフが滞在しており、日常的なトレーニングやフィットネス需要が高くプール利用が見込まれる。

(仮称) プール絵本館複合拠点施設整備計画工事工程概略

R8.3



※今後の工事工程は現場の状況により変更となる可能性があります。

○令和8年4月時点

【総事業費】

単位：千円

項目	金額	
A 建設工事費	2,912,470	建築主体工事・電気設備工事・機械設備工事
地中熱導入工事	217,037	地中熱ヒートポンプ工事
B 設計業務／工事監理	162,657	
C 外構工事費費	182,974	植栽工事含む
D 備品整備及び付帯事業費	143,165	温水プール備品整備費、絵本館多目的備品整備費
E 解体工事費	285,284	
合計	3,903,587	

【財源別一覧】

■整備費に係る想定

単位：千円

項目	金額（想定）	内訳	
国庫交付金	480,330	248,512	学校環境改善交付金
		231,818	エネルギー構造高度化・転換理解促進事業等
地方債	2,694,300 ※1,347,150		公共施設等適正管理推進事業債 ※元利償還金の1/2交付税措置
一般財源	442,184		公共施設整備基金等、森林譲与税
合計	3,616,814		

■解体費に係る想定

項目	金額（想定）		
地方債	244,500 ※122,250		公共施設等適正管理推進事業債 ※一部元利償還金の1/2交付税措置
一般財源	47,824		公共施設整備基金等
合計	292,324		

■ 整備情報、進捗状況の発信

- ・新プール絵本館複合拠点インフォメーションとして、HP や町広報、公民館等の掲示板にて情報発信を行っています。



■ 施設愛称の選定について

- ・令和8年4～5月に公募を行い、町内団体や中高生が参加する選定委員会及び部会にて、最優秀作品を選定致します。



■ 内観イメージ動画



■ 子育て講座の開催

- ・令和7年12月20日開催の令和7年度子育て講座において、ぎふメディアコスモス元総合プロデューサー 吉成信夫さんをお招きし、本を通じた子育てや子育て、コミュニティづくりに関して講演を行いました。



問い合わせ

倶知安町教育委員会社会教育課施設計画係

住 所：虻田郡倶知安町南3条東4丁目2-2
倶知安町公民館2階

電 話：0136-22-0230 / 4151

メー ル：syakai-kyouiku*town.kutchan.lg.jp

(*を@に変換してお送りください)